岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川八幡川水系荒谷川支川(73隣a)通常砂防事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　ダム・溜池

ボーリング名	Boring No.4	調査位置	広島県広島市佐伯区五日市町下河内(No.-1+18.120 CL)	北緯	34° 24′ 41.4328″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年12月14日～ 令和3年12月16日	東経	132° 20′ 44.8426″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 100.04m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	11.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機製DO型 / エンジン：ヤンマー製NFD10型 / ポンプ：東邦地下工機製BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率(%) / 最大コア長(cm) / RQD(%)	記事	孔内水位/測定月日
1				礫混じり砂	暗茶褐								土石流堆積物。下位層である広島花崗岩類が土石流により二次堆積したもの。表層部付近腐食物及び草木根含有する。ルーズで不均質な未固結層。	
2														
3													GL-2.60m付近より細粒分含有率低下し，中砂主体となる。	12/14 2.90
4					灰白茶									第四紀・（土石流堆積物）
5													GL-5.00～8.35m間，色調変化し，細粒分の含有率やや上昇する。	12/15 5.00
6														
7					茶褐								GL-6.80～8.35m間，やや不均質となり，局部的な細粒の薄層が確認される。	
8	91.69	8.35												
9				花崗岩	灰白	w3	h3	D	Ⅳ	c	DH	34[34]100	中生代白亜紀の花崗岩。短柱状～柱状コアで採取され，CL級岩盤が主体となる。上位層との境界部付近に高角度の亀裂が確認される。全体的に水平方向の節理が卓越する。	白亜紀・（広島花崗岩類）
10						w2	h2	C	Ⅲ	b	CL	24[64]100 / 30[63]100		
11	89.04	11.00												
12														

標準貫入試験

N値	深度(m)	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	3/300		
	1.45			
2	2.15	2/300		
	2.45			
7	3.15	7/300		
	3.45			
3	4.15	3/300		
	4.45			
14	5.15	14/300		
	5.45			
10	6.15	10/300		
	6.45			
15	7.15	15/300		
	7.45			
50以上	8.15	50/200	200	
50以上	8.35	貫入不能		
50以上	9.00	貫入不能		
50以上	10.00	貫入不能		
50以上	11.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
12/14	200	66/ケーシング	S/打込みシュー	0.0	0	0.0	明 0.0	0.0
12/15	120	66	D/DC	0.0	300	0.0	明 4.0	4.0

株式会社荒谷建設コンサルタント